

授業紹介

「スポーツ実習A」 (フットサル)



ゲームを指導する山下立次先生▲

科目区分：教養教育 個別科目（生命・保健科学）

時 限：月曜 3限（12：40～14：10）

授業概要：フットサルのゲームを中心に展開し、個人のスキル・戦術を高め、楽しく質の高いゲームができるようにする。フットサルの基本技能と基礎理論を習得するとともに、ルールやマナーについても理解を深める。また、将来、日常生活の中に「生涯スポーツ」として積極的に取り入れ、フットサルの実践及び観戦を楽しむことのできる能力を培う。

第五回は「生命・保健科学」領域の個別科目として開講されている全学部生対象の教養教育科目「スポーツ実習A」（フットサル）です。

現在、市民権を得つつあるフットサル。このフットサルを通じて、スポーツを生涯の友として楽しめるようになる授業をご紹介します。

▼構成

そもそもフットサルとはなにか？ 基本的に室内で、五対五のチームでボールを蹴ってゴールを狙うという、サッカーに似たスポーツなのですが、サッカーほど広いコートや参加人数を必要としないので、手軽に楽しめるスポーツとして、近年では、岡山市でも多くのフットサルコートが整備されるなど、市民のスポーツとして定着しつつあります。

この授業は、手軽なスポーツ・フットサルを通じ、スポーツの楽しさを体感することで、生活の中にスポーツを取り入れて欲しいとの趣旨で3年前に開講されました。フアジアノ岡山FCの総監督でもある非常勤講師の山下立次先生が担当し、週に一度、津島キャンパスの第二体育館で実施されています。受講者は30名で、鹿田キャンパスを含み、全学部におよびます。イングランド・スコットランドからの外国人留学生も加わりまます。サッカー経験者もいますが、未経験者が半数以上です。最近

は女性の参加者も多く、毎期4・5名が受講しています。

授業は実際のプレイを中心に行われます。参加者をいくつかのチームに分け、リーグ戦で優勝を争います。チーム分けの際には、サッカー経験者・未経験者・女性・留学生を戦力が偏らないように均等に振り分け、1年生から4年生まで、そして全学部生をシャッフルして編成します。技術を磨くのではなく、あくまでも「スポーツを楽しむ」ことを目的としているので、ゴールにカラーコーンを用いたり、キーパーを設けなかったり、女性がゴールした場合は2点、など参加者が安全・快適にプレイを楽しめるようコートやルールに工夫を凝らしています。

▼体験

1月25日の授業もゲームが行われました。会場の第二体育館も身震いするほど底冷えのする日だったにも関わらず、縦横無尽にコートを駆けめぐる参加者たちは頬を上気させ、とても楽しそうでした。また、ゲーム終

了後に、チームが集まってミーティングしている光景がとても印象的でした。山下先生によれば、とくにそうするように指導したわけではなく、ゲームを重ねるうちに自然とチームワークが形成され、ミーティングを行うようになったとのことでした。

▼反響

この授業はとても人気で、例年多数の参加者があります。参加者にインタビューしたところ、「ふだん会えない他の学部の学生と仲良くなれるのが楽しい」「留学生とことばが通じなくても理解しあえるのがうれしい」といった感想がありました。全学部生・留学生がともにフットサルを楽しめるのが人気の秘密のようです。

「今後もフットサルを続けていきたい」と語る参加者も多く、とても楽しく、そして後の人生に役立つ有意義な授業であるといえます。